

現代用語

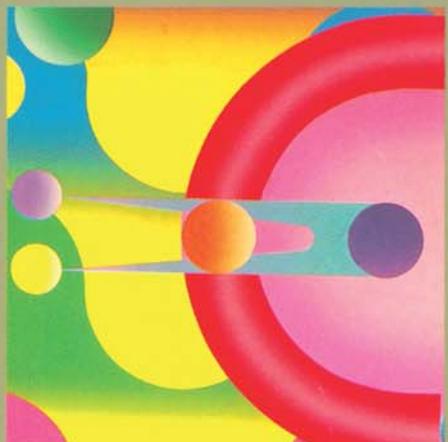
1990



時代の鼓動を反射する
新語・外来語の宇宙

の

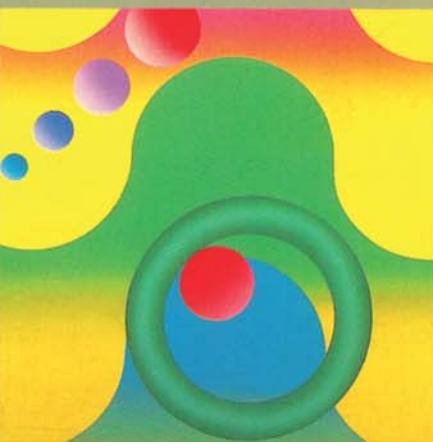
基礎知識



外来語・略語年鑑
マスコミに出る外来語・略語総解説

卷頭特集 ■ カラーグラビア

今、世界で何が
起こっているか
テーマ別 現代史立体地図

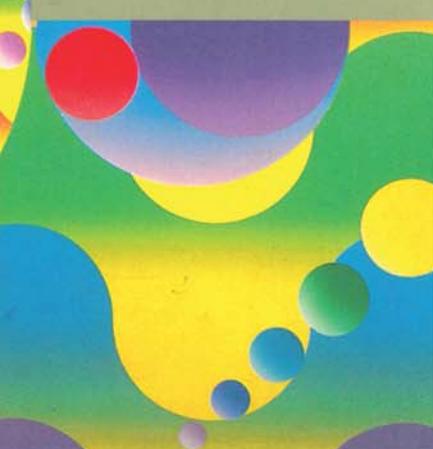


昭和語ミニ事典
昭和64年間の流行語の流れ



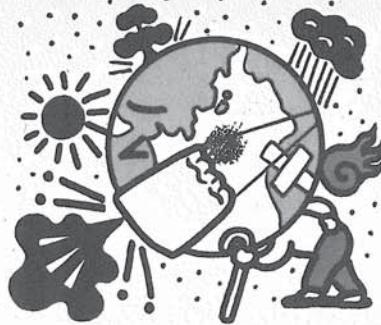
別冊付録 ■ コラム & データ・リポート

にっぽん流行白書
90年代の流れをキャッチする



自由国民社 90.1

新設項目特集 ①



地球環境用語の解説

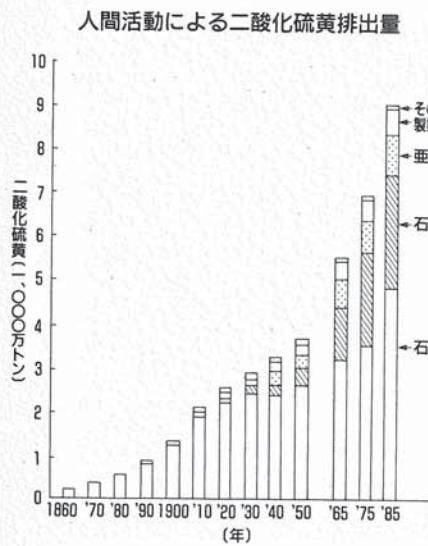
近藤次郎 [こんどう じろう] 日本学術会議会長

国際政治の舞台では東西関係の緊張緩和がすすみ、人類の関心は対立よりも調和の方向にある。地球規模での環境問題への取り組みはそれを象徴するものである。技術・情報が高度化する一方で、われわれが再認識すべき課題は危機にある地球環境の実態を直視することである。

地球環境の悪化と国際問題化

三二〇〇万人の読者を誇る世界最大の週刊誌「タイム」は、一九八九年一月二日号で新年恒例の「年の人」に「危機に瀕する地球」を取り上げた。事態の深刻さを示す一つの証左として国際世論に大きな衝撃を与えた。国内でも、新聞が地球環境問題を取り上げない日はない。漫画にも、テレビにも、オゾン層の破壊などが登場する。ブッシュ米大統領、サッチャー英首相も、また、わが国の首相も地球の危機を語り、国際協力を謳う。茶の間から首脳会談まであらゆる所で地球環境が論じられているのである。

地球環境の悪化が国際問題化した背景には何があるのだろうか。個々の問題の解説に入る前に、まず、この点を考えみたい。理由の第一は、地球の環境が実際に悪化していることである。世界経済は、八三年以降、長期の拡大局面にある。アメリカの財政赤字、途上国における累積債務の増加などの不安要因があるものの、八九年まで実質でおおむね3%以上の成長が続いている。八三年と八八年とを対比すると、このわずか五年間でGDPや石油消費は二割以上拡大した。これまでのとおりの公害対策を行っているだ



(備考)(1) D.Moller: 'Estimation of Global Man-made Sulphur Emission' (1984)による。
(2) 1985年の値は予測値。

けでは、いろいろな汚染物質の量は燃料消費などと同じペースで増えてしまう。例えば、次のグラフは、最も代表的な公害物質である硫黄酸化物の世界排出量の推移であるが、近年、加速度的な増加が見られる。事実、日本においても、厳しい排出ガス規制をクリアしたトラックなどが市場に出回り公害対策の効果は徐々に出てきているはずと

早ばつを予言した。この予言が的中したことから、アメリカの世論は急速に環境保護の主張を強めた。このほか、北海のアザラシ大量死事件、欧州先進諸国の廃棄した化学物質が遠くアフリカに持ち込まれ、不適切な処理をされているという有害廃棄物の越境移動問題、サヘル地域の砂漠化の進行と環境難民の発生、ネバールなど上流域での植生破壊に伴つてますます深刻さを加えるバングラデシュの洪水、中国大陸での酸性雨の深刻化と日本への影響の恐れなどに見るよう、国境を越えて生じる環境問題は枚挙にいとまがない。さらに、途上国での環境破壊も、いわば世界の共通現象となっている。例えば、熱帯林の減少が続き、アフリカゾウなどの野生生物の絶滅の恐れが指摘されている。ブラジルなどにおいては先進国の援助を得た開発プロジェクトが環境破壊を理由に地元住民との衝突を招き、人口や産業が集中する途上国の大都市では、かつての日本並みかそれ以上の公害に悩まされている。一九七二年、世界の賢人を集めた「ローマ・クラブ」は有名な「成長の限界」レポートを公表し、地球の環境悪化が成長を制約しかねない、との警鐘を鳴らした。また、米国環境保護庁は、

はいえ、他方で交通量が増加し、対策効果が相殺されている。このため、窒素酸化物による汚染は八七、八八年度と二年続けて史上最悪レベルになつたと報じられている。世界に目を転じると、各地で、あるいは、地球規模で環境が悪化している兆しが数多く見られる。八六年四月のチエルノブイリ原発の事故は、一国の汚染といえども国境を越えて世界中に広がる恐れがある、との事実を多くの人が実感する契機となつた。その後遺症は今日でも問題となつていて、八七年には南極のオゾン・ホールが観測開始以来最大規模に達し、さらに、八八年には、人口稠密な北半球の中・高緯度地域でも成層圏オゾンが減っていることが確かめられた。同じ八八年には、アメリカの著名な気象学者が議会に出席し、地球の温暖化が既に始まっている旨の証言を行い、北アメリカにおける夏の猛暑と旱魃を予言した。この予言が的中したことから、アメリカの世論は急速に環境保護の主張を強めた。このほか、北海のアザラシ大量死事件、欧州先進諸国の廃棄した化学物質が遠くアフリカに持ち込まれ、不適切な処理をされているという有害廃棄物の越境移動問題、サヘル地域の砂漠化の進行と環境難民の発生、ネバールなど上流域での植生破壊に伴つてますます深刻さを加えるバングラデシュの洪水、中国大陸での酸性雨の深刻化と日本への影響の恐れなどに見るよう、国境を越えて生じる環境問題は枚挙にいとまがない。さらに、途上国での環境破壊も、いわば世界の共通現象となっている。例えば、熱帯林の減少が続き、アフリカゾウなどの野生生物の絶滅の恐れが指摘されている。ブラジルなどにおいては先進国の援助を得た開発プロジェクトが環境破壊を理由に地元住民との衝突を招き、人口や産業が集中する途上国の大都市では、かつての日本並みかそれ以上の公害に悩まされている。一九七二年、世界の賢人を集めた「ローマ・クラブ」は有名な「成長の限界」レポートを公表し、地球の環境悪化が成長を制約しかねない、との警鐘を鳴らした。また、米国環境保護庁は、

一九八〇年に「西暦二〇〇〇年の地球」と題する報告書を発表し、将来の環境悪化を大胆に予測した。当時、地球規模での環境の悪化はSFのように受けとめられていたが、今日に至って、われわれは、その実例に事欠かない世界に住むこととなった。

地球環境問題が国際問題化した第二の理由は、世界各国やその指導者がこの問題を積極的に取り上げ始めたからである。例えば、長く反環境派と見られてきたイギリスのサッチャー首相は、八九年三月、オゾン層保護対策の国際的強化を謳い上げる大規模な国際会議を主催した。「鉄の女」の「緑の女」への変身として大きな話題を呼んだ。欧州の盟主の座をイギリスと争うフランスのミッテラン大統領も、地球環境問題を巡る初めての首脳級会議（ハーグ会合）を同月に主催し、さらに、フランス革命二〇〇周年を記念したアルシュ・サミット（八九年七月）では、その経済宣言の三分の一を環境問題に割いた。ソ連も、八八年の国連総会で、シュワルナゼ外相が環境理事会の創設を提唱したり、わが国に対し環境技術協力を申し入れたりしている。日本もこの例外ではない。去る一〇月には、超党派の政治家が国際的な議員フォーラムを開催するなど、政治の舞台で地球環境問題が論じられるようになつてきている。

それでは、未来の地球環境政策とはどんなものでなければならないのだろうか。

地球規模の環境破壊の特色としては、多くの環境要素が関与して、徐々に悪化が進んでいく複雑で長期的なプロセスであるという点が最も重要である。環境変化は、いつん生じれば元に戻せない「不可逆的」なものかもしれない。われわれは、この複雑な過程について知り始めたばかりであり、十分な科学的情報を持ち合わせていない。しかし、被害が発生し、環境破壊に係わる因果関係が確かめられてから対策を取ったのでは手遅れとなることが多い。このため、「不確実性の下での最善の政策決定」とでもいうべき新たな政策理念を開発する必要がある。最近のオゾン層保

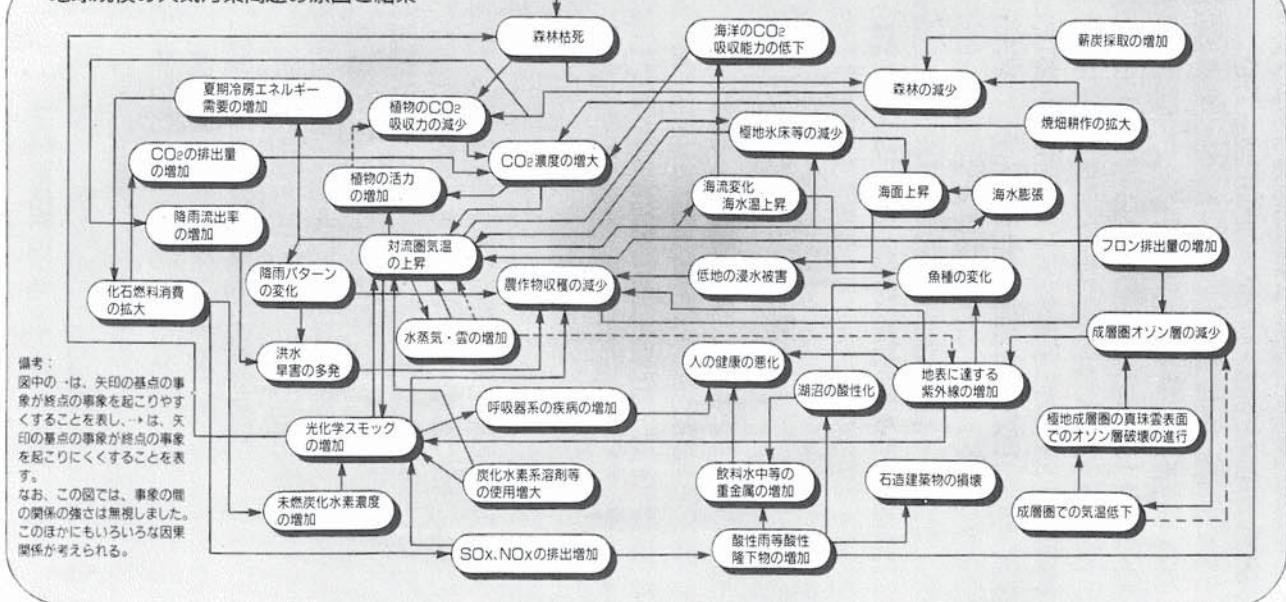
護対策の場合でも、問題が指摘されてから、実際に国際的な対策が取られ始めるのに一五年もかかっている。今後は、研究を進めるのはもちろん、それだけでなく、研究の結果をもつと早く政策に生かさなければならない。また、次の図に見るよう、どの環境悪化あれ、その原因には、大量消費と相互依存関係などを特徴とする現代の世界経済システムが深く関係している。一方、地球の環境変化では、多数の環境要素に影響が及び、これが一層深刻な環境破壊を呼び、結局、将来の経済発展の基礎が全体として崩れてしまう恐れもある。

こうしたことから、個々に対症療法的な対策を取るだけではなく、総合的な目配りをした根治療法的な対応が必要である。特に、将来世代の経済発展の基盤を損なわない『持続可能な開発』の考え方立った新たな開発政策の具体化が図られなければならない。

地球全体の環境悪化は、超大国といえども一国では対応不可能な問題であり、その解決には各国の応分の参加が必要である。しかし、地球環境問題は、文字どおり、原因や被害が国境を越えて起こる問題であり、また、世代を超えて被害を生じることもある。このため、関係者間の利害は容易には一致せず、対策の実際の分担についての合意形成は難航せざるを得ない。その上、この問題が巨大であり、人類が初めて経験するものであることから、対策技術も今のところ十分には発達していない。先進国の中ですら対策の進展の度合いはまちまちであり、まして、途上国では、これから発展しようという時に金がかかる対策を求められることに大きな抵抗を感じている。

この問題の解決には、国境を越え、世代を超えた人類全体の利益を擁護する『グローバリズム』の観点を踏まえた調整が欠かせない。今後、環境を守ることを専門とする国際機関の強化、環境を守るために国際約束の発展、途上国が抱える困難に対する特別の配慮と他方での先進国の率先的かつ思い切った役割分担などが広がっていくだろう。

地球規模の大気汚染問題の原因と結果



現代産業用語の解説

- 88年度も日本経済は、実質経済成長5.1%と堅調な発展を遂げてきた。90年度は、円安・原油高・金利高というトリプルデメリットに直面し、緩やかな景気後退が見込まれている。

- 情報・通信技術の進歩、金融の国際化等により、世界経済のグローバリゼーションが急速に進展している。企業の現地化、技術移転を促進する一方、国内の市場開放、規制緩和が一段と強く求められよう。

●最新のヒット商品の潮流は「健・高・遊・情」であるという。「ゆとりある生活」志向へと消費者ニーズは変化している。対内的には市場ニーズに合った製品作りがキーポイント。

牧野昇 [まきの・のほる] 三菱総合研究所会長

A cartoon illustration of a man in a spacesuit holding a sign that says "SALE" while talking on a mobile phone. A small alien-like creature with glasses is looking up at him from a saucer-shaped vehicle.

◆CIM (Computer integrated manufacturing)
90年の最新語

◆CIM (Computer integrated machine)
90年の最新語

コンピュータによる統合生産のこと。製造業の究極の生産管理方式と考えられている。

コンピュータによる統合生産のこと。製造業の究極の生産管理方式と考えられている。すなわち製品の企画・設計・開発・生産・製品管理・流通等の各部門をコンピュータ・ネットワークで結び、情報を有効活用することによって生産性の向上と企業競争力の強化を図ろうというもの。日本IBM、トヨタ自動車、三菱重工業等、大手製造業の大半が

構想 ハイマート二〇〇〇

通商産業省が、一九九〇年代

これまでの模索の段階から普及の段階に入ろうとしている。製造業は生産ライン間の相互関連性欠如、消費者ニーズの多様化による生産ロット

通商産業省が、一九九〇年代
流通ビジョンの中でその推進
を提言している新流通政策。
生活提案型流通業を育成し、
快適な魅力ある貿物環境を創

イマート二〇〇〇構想は商業サービス産業を中心とする新しいシティ・リゾート拠点づくりであり、これらを通じて地域の活性化を図る一方、都市における良質なストックの蓄積、都市の個性化ならびに

◆機能性食品の台頭

これまで食品といえば炭水化物・脂質・たんぱく質の提供に代表される栄養機能や味覚・視覚・嗅覚を満足させる嗜好機能が主なものとなっていたが、最近では生体リズムの調節や免疫系の調節といった、体調調節機能を重視した機能性食品が注目を浴びるようになっている。たとえば、人気タレント山田邦子のCMで有名となつた「ファイブミニ」(二三〇億円売上げ)。腸の働きを正常化し、便秘を解消する植物繊維入りの機能性ドリンクである。その他、動脈硬

化や脳血栓に効果ありといふ
EPA（エイコサヘンタエン
酸）成分を加味したパンやハ
ンバーグ、オリゴ糖やビフィ
ズス菌の入ったキャンディな
どの商品化が進行中。現在、
厚生省を中心として市場導入
の対象範囲、表示方法、機能
評価の方法等、法律面や認可
面の制度化が検討中であり、
今後体制の整備が進めば消費
者の健康志向と相まって健康
の維持・増進、病気の予防・
治療剤として大幅な市場拡大
が期待できる。

きく変化している。香りを商品化したものの、化粧品などとの芳香製品やトイレ・台所などの消臭・脱臭商品がある。最近脚光を浴びている香りビジネスとは、従来のタイプとは若干異なり、香りを商品に添加して味覚を補助的に向上させる(カニカマボコなど)とか、「香りの枕」や「香りのシーツ」のように、香りによつてストレス解消、心の安らぎを得るなど心理療法(アロマセラジー)に利用するとか、マヨロジーに利用するなど、積極的な香りの利用ビジネスを指す。アメニティ文化、バイオテクノロジーの進歩などを考えると、香りビジネスの将来はますます有望といえよう。

雑誌アンアンで提唱する東カジ(東京カジュアル、ナンジャコレ)の必須アイテムなんだそうだ。そして、忘「はいけないのが海部首相の水玉ネクタイだ。あのは東カジだったんですね。」〔昔様かし復活長寿話題学〕

ストレス社会用語の解説

小此木啓吾

[おこのき・けいご] 慶應義塾大学助教授

- 週休2日が普及し、余暇開発が叫ばれ、会社人間も、マスメディアからの印象では、ワーカホリックなライフスタイルに別れを告げるときが来たようだ。
- この動向に対応するかのように、サラリーマン達の間に帰宅拒否症候群や、休日拒否・休日神経症が広がっている。これらの会社人間たちは、仕事と男の付き合いに生き甲斐を見出す心理構造から抜け出せないまま、週休2日や余暇に出会い、ストレスになっている。
- 会社そのものも、週休2日では仕事がやり切れず、結果的に、その分残業時間をふやさざるを得ない。その結果、週休2日になったためのストレスがまたサラリーマンたちに広がっている。

90年の最新語



◆ストレス産業

ストレスという言葉が普及し、人々がみずからストレスに気づき、その解消を求めにつれて、容易に手に入るストレス解消法を商品化するさまざまな機械や装置が商品化され、一種のストレス産業と呼ぶにふさわしいような流れ

現象を生んでいる。例えば「リフレッシュ・カプセル」は、ストレスを解消することを目的につくられたカプセルで、中に入つて、ゆったりと静かに音楽に聞き入ることで、脳波のα波がふえるとか、あるいは血圧が下がり、心拍数が減少する、副交感神経の働きが活発になるなどの所見が得られるという人もいる。また、このような音楽は、生体のホメオスターシスを回復し、自律神経の機能を健康な方向に調節するといふ。しかし一方で、必ずしもまだ科学的裏付けがないままである。

ストレス産業は、ストレスを解消することを目的につくられたカプセルで、中に入つて、ゆったりと静かに音楽に聞き入ることで、脳波のα波がふえるとか、あるいは血圧が下がり、心拍数が減少する、副交感神経の働きが活発になるなどの所見が得られるという人もいる。また、このような音楽は、生体のホメオスターシスを回復し、自律神経の機能を健康な方向に調節するといふ。しかし一方で、必ずしもまだ科学的裏付けがないままである。

ストレス産業は、ストレスを解消することを目的につくられたカプセルで、中に入つて、ゆったりと静かに音楽に聞き入ることで、脳波のα波がふえるとか、あるいは血圧が下がり、心拍数が減少する、副交感神経の働きが活発になるなどの所見が得られるという人もいる。また、このような音楽は、生体のホメオスターシスを回復し、自律神経の機能を健康な方向に調節するといふ。しかし一方で、必ずしもまだ科学的裏付けがないままである。

ストレス産業は、ストレスを解消することを目的につくられたカプセルで、中に入つて、ゆったりと静かに音楽に聞き入ることで、脳波のα波がふえるとか、あるいは血圧が下がり、心拍数が減少する、副交感神経の働きが活発になるなどの所見が得られるといふ。しかし一方で、必ずしもまだ科学的裏付けがないままである。

ストレス産業は、ストレスを解消することを目的につくられたカプセルで、中に入つて、ゆったりと静かに音楽に聞き入ることで、脳波のα波がふえるとか、あるいは血圧が下がり、心拍数が減少する、副交感神経の働きが活発になるなどの所見が得られるといふ。しかし一方で、必ずしもまだ科学的裏付けがないままである。



持てない。一方では、特別になりたいとか、人に対する才のように——たいという気持ちを持ち、絶えず自分が設定した目標に達成できないと不安に駆られている。それだけに、周りから見るとかなり能力があつても、自分で自信が持てない。また、仮に成功したとしても、それは本当の自分の力によるものではないといったような自己否定感が強い。表面はごく普通の人見えるのだが、内面的に、このようなインボスター現象に苦しんでる人々がふえている。そして、自分が本物ではない、偽りの自分しか感じられないというふうに訴える。インボスターとは、詐欺師とか、自己欺瞞者、あるいは仮面をつけた人々は、人に対して、あるいはまた、職場において、本心とは裏腹な幾多の仮面をつけようになる。インボスター現象は、米国の心理学者R.クランスによって名づけられたが、次第にわが国でもストレス社会の中でこのような仮面の自分に苦しむ人々がふえていく可能性がある。

米国でも、フェミニズムの確立と並行して、幼女姦がふえたと言われているが、わが国でも、今後、同じような動向が予測される。そしてこの動向は、幼女を持つ父母、そしてまた、大人たちに深刻な不安と脅威をこれから引き起こすおそれがある。

幼女姦の多発の背景には、幼女姦は一般的に弱い男性によつて行われるといわれている。一方で、ウーマンパワーが高まるにつれて、女性に對して劣等感を抱く男性がふえる。また、一人前の女性と異性愛をともにするだけの人格発達をする

のが多発し、日常化している。誘拐の目的は、幼女ボルノの撮影であり、また、幼女姦そのものである。

幼女姦の多発の背景には、幼女姦は一般的に弱い男性によつて行われるといわれている。一方で、ウーマンパワーが高まるにつれて、女性に對して劣等感を抱く男性がふえる。また、一人前の女性と異性愛をともにするだけの人格発達をする

のが多発し、日常化している。誘拐の目的は、幼女ボルノの撮影であり、また、幼女姦そのものである。

心理学用語の解説

岸田秀一[しゅう一]・和光大学教授

- 本能が壊れ、本能に頼って生きていいくことのできない人間は、どんなことをするにも物語を必要とする。不幸であるときには、その不幸の原因は何であり、どうすれば不幸を解消できるかについての物語を必要とする。
- 物質的に欠乏していた時代には、これこれのものが得られ、豊かになれば幸福になれる、という物語を信じて人間は生きてきた。現代のように物質的に豊かになり、不幸の原因を欠乏に求められない時代に、人間はどういう物語に頼ればよいのだろうか。
- その種の物語を提供すべき心理学は自然科学主義と神秘主義という二つの誘惑の間で迷い、呻吟している。



る。しかし本来の意味では自我的抑圧によって、無意識下に押し込められている一連の記憶をコンプレックスとよんだ。S・フロイトのエディップス・コンプレックス(Oedipus complex)がとくに有名で、これは男の子が母親に性愛を感じ、父親を敵視する幼児の感情体験をいう(→精神分析)。

◆トランザクションナル・アナリシス/T A / 交流分析(transactional analysis)

一九五九年、アメリカの精神分析医E・バーンによって提唱された精神分析の口語版ともいえる心理療法である。これでは個人の自我状態をP(parent)=厳しい父性、優しい母性といったものを両親から取り入れた心、A(adult)=成人のもの=合理性、知的な心、C(child)=自己中心的であって、しかも創造的で、心のなかにあるこのP・A・Cのバランスが必ずしも通り立つところに問題が起つ。これをカウンセリングを通じて相手に自覚させていくことを目的とするのが交流分析である。元来、Pとは精神分析における超自我、Aは自

う。したがって、今、一つのほうに定め、それを達成したことにもなる。その点においてフラストレーションにも通じる。この他にも、"河豚は食いたいし、命は惜しい"といったもの、また"前門の狼、後門の虎"といったより深刻な事態も考えられ、とくに後者はディレンマ(dilemma)とよばれてくる(→コンプレックス「フラストレーション」「超自我」精神分析)。

◆コンプレックス(com-

plex)

強い情動によって色づけられた記憶の群をいう。通用語としては、たとえば失恋の記憶は一つのコンプレックスといわれる。「劣等コンプレックス」が略されて単に「コンプレックス」ということもあ

る。しかし本来の意味では自我的抑圧によって、無意識下に押し込められている一連の記憶をコンプレックスとよんだ。S・フロイトのエディップス・コンプレックス(Oedipus complex)がとくに有名で、これは男の子が母親に性愛を感じ、父親を敵視する幼児の感情体験をいう(→精神分析)。

◆エス(Es独)

精神分析の用語で、超自我、自我とともに、人格を構成する三つの審級の一つ(→超自我)。道徳的判断を欠き、現実を知らず、快感原則のみによつて動いている。エスとは個人の人格の大きな部分を占めておりながら、個人が自分に属するとは思っていない部分、無意識へと抑圧している部分である(→精神分析)。

◆アイデンティティ/自同性(identity)

アメリカの自我心理学者E・H・エリクソンが一九六九年來唱えていた概念である。とくに青年期に入ると、生理的・社会的にも不安な状況が現出することから自我の再統合を迫られる。しかし自分が自分であることをから自我の確信がなかなかつかめない。これをアイデンティティの危機とよび、これが通して自分といふものを確立していくことになる。しかし、今日ではアイデンティティを確立する根拠となるいろいろな理念(神、国家、民族、理想、真理、価値など)が疑われて揺らいでいるた

精神分析と意識

精神分析は自己意識をもつ

存在としての人間を自己意識をもつて了解しようとする心理学である。無意識は

意識を解析する補助線であり、ここに精神分析の重要な性がある。

◆精神分析(Psychoanalysis)

オーストリアの精神医学者S・フロイトの創始した一分野である。幼児期の性発達、コ

ーラー立てるなど、こちら立たず"といった同時に二つ以上の目標が併存して、しかもその一つだけの選択を迫られているという困難な状況をい

う。われわれが直接体験するのは自己意識だけであり、ここに精神分析の重要な性がある。

◆葛藤(conflict)

藤と防衛の機制、不安と症状形成などの無意識心理学(深層心理学)的機制と力動とを明らかにすることによって、精神医学、心理学、社会学のきわめて重要な諸問題に解答を与えるとともに、文芸、宗教、あるいは社会の諸問題に對してのきわめて大胆にして広汎な体系を立てている。フロイト正統派の研究者は比較的大きなものがある(→コンプレックス「エス」「深層面接」「自由連想」)。

◆コンプレックス(com-

plex)

精神分析は自己意識をもつて了解しようとする心理学である。無意識は

バイオエシックス

用語の解説

米本昌平 [よねもと・しょうへい] ……三義化成生命科学研究所社会生命科学研究室室長

●日本のバイオエシックス研究は、80年代に入って少数の研究者によって細々と始められたが、最近この数少ない研究者を統合し、ネットワークを構築しようとする動きが出てきた。

●88年後半に、日本生命倫理学会と生命倫理研究会があい次いで発足した。また同年末には、脳死臨調の設置法案が国会に上程された。

●こうして懸案であった脳死を前提とした臓器移植をどうするかについての、本格的な調査研究や討議が行われようとしている。また他方で、狭い意味での医療問題から、現代型の生活価値観や環境問題の意味にまで研究の課題を広げようとする動きがでている。

バイオエシックスの基本概念

◆バイオエシックス (生

命倫理 bioethics)

バイオエシックスとは、新しい形の医療技術やバイオテクノロジーによって生じる社会的諸問題に応えよう

とする学問的立場であり、今日、そのための新しい概念がいくつか確立されてきている。

◆バイオエシックス (生

命倫理 bioethics)

一九七〇年代初頭のアメリカで勃興してきた新しい学問であり、七八年に出された記念

碑的著作『バイオエシックス』の著者は、医者=患者

までの医の倫理が、もつぱら医者=患者の関係を扱ってきたのに対して、バイオエシックスは、さらに広義の医療体系の問題、治療に直接関係しない生命科学の基礎研究の問題、環境・人口問題などまでをも含み、これらを倫理・宗教・文化・法律・哲学などを複数の専門領域から考察する、総合的な学問的立場であるとされる。

ただし、実績からみると、それは三つの次元における意思決定を強く意識した実学的な学問である、という性格も持つていて、その三つの次元で、医師に説明義務があることを認めさせるための法廷裁判は二つの来歴がある。一つは、もともと医療過誤裁判で、医師に説明義務があることとを認めさせるための法廷裁判の場での考え方である。この場合は、事前に実験の目的や危険性などが十分説明さ

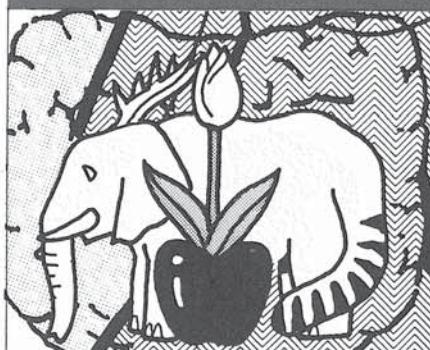
◆医療職能団体 (medical profession)

西欧近代社会は、特殊な教育を受けた資格をとると、特殊なギルド集団の一員となるような職種を二つ発展させ

関係のレベル、医療職能団体のレベル、新技術の社会受容にかかるレベル、の三つである。

◆ インフォームド・コンセント (informed consent)

医師が患者に対して、受ける治療内容の方法・意味・効果・危険性・その後の予想・経費などを、十分かつ、わかりやすく説明し、そのうえで同意を得ること。この考え方には二つの来歴がある。一つは、もともと医療過誤裁判で、医師に説明義務があることを認めさせるための法廷裁判の場での考え方である。この場合は、事前に実験の目的や危険性などが十分説明さ



れ、被験者が自発的に同意する、という意味である。一九七〇年代のアメリカで、この思想を医者=患者関係の基本に置こうと考えた。そのきっかけは、初期の心臓移植手術が開発途上の技術とみなされ、すべて人体実験としての手続きをとることが要求されたからである。

◆患者の権利 (patient's rights)

一九七〇年前後に、それまで一方的に診断され治療されるだけの存在であった患者を、医療サービスを受ける消費者として、対等の立場にまで引き上げようとする運動が起こった。その結果、患者の地位に對して近代市民の規定が重ね合わさせて読むことが始まり、それまでの医療思想全体が法律用語で再解釈されることになった。そして早くも七二年に、インフォームド・コンセントと患者の自己決定を二本柱とする患者の権利が、アメリカ病院協会によって打ち出されることになった。

◆大統領倫理委員会報告 (Report of President's Commission for the Study of Ethical Problems)

アメリカの医療職能団体は、このガイドラインを決めるに当たって、個別問題ごとに専門作業部会を組織し、つぎつぎ報告書を積み上げる方式を確立させた。その過程で公聴会が開かれたり、世論調査の数字が折り込まれてきた。こ

とくに、聖職者と法律家と医師である。そして一九七〇年代のアメリカでは、専門家に対する社会的批判が強まる中で、医療職能団体は、その独立性を守るために、医の権威を組織化し、一元化しようとしました。その方法は、専門家としての経験を中央に集め共用することで、医療行為の品質管理を自らの力で行い、これと見合いで社会に対しても立派性を認めさせる、というものである。

◆「バットマン」ブーム
1990年の最新語
一九八九年六月に本国公開されたアメリカ映画「バットマン」が、記録破りの大ヒットとなり、「バットマン」ブームを生み出している。一九三〇年代にコミックスの主人公として誕生、ラジオやテレビでもドラマ化されてきたヒー

ロードが、カラー・ワイド画面時代の映画に新しくよみがえった。主人公をマイケル・キートン、悪玉ジョーカーをジエック・ニコルソンが演じ、監督は「ビートルジュース」のタイム・バートン。

◆利休四〇〇年遠忌の映画競作と国際的受賞
賞
松竹系で公開された勅使河原

宏監督の「利休」と、東宝系で公開された熊井啓監督の「千利休・本覚坊遺文」という二つの、千利休四〇〇年遠忌を記念する映画が、日本映画久しぶりの本格歴史ドラマの競作として話題を呼んだ。三国連太郎が利休を演じる「利休」(野上弥生子原作)は、モントリオール映画祭で最優

◆山形国際ドキュメンタリーフィルム賞
受賞した。

◆山形国際ドキュメンタリーフィルム祭
一九八九(平成)年一〇月に山形市の市制一〇〇年を記念する「山形国際ドキュメンタリーフィルム祭'89」が、世界各国のドキュメンタリーフィルム作品

映画トピックス

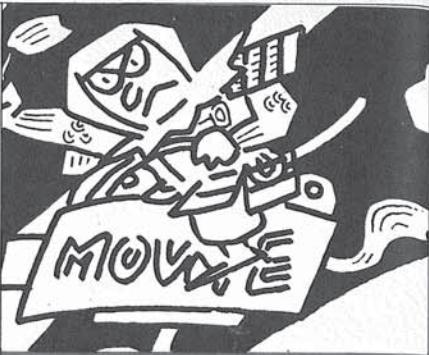
アメリカのタイム社のワーナー・コミュニケーションズ買収と、パラマウント・コミュニケーションズのタイム社買収をめぐるトラブルの双方に、日本の銀行が資金援助をしてからんでい



●「バットマン」ブームを生み、「レイマン」をヒットさせ、アメリカ映画産業は空前の状況をみせている。それにくらべると、わが日本映画産業は、あい変わらずの空転ぶりが目立つ。

●しかし千利休を主人公にした日本映画二本が、ともに国際映画祭で受賞したり、第三回目の東京国際映画祭や第一回山形国際ドキュメンタリー映画祭が開催されたり、新しい胎動を感じられないわけではない。「黒い雨」がカンヌ映画祭で、番外だが高等技術委員会賞を受賞してもいる。

●アメリカ映画「ブラック・レイン」が大阪で本格的ロケ撮影を敢行するなど、海外映画の日本乗り込みも始まった。



白井佳夫「しらい・よしお」
映画評論家

現代映画用語の解説

と、ドキュメンタリー映画作家たちを集めて行われた。出品作品は一本。「ロバート・フラハティ特集」「日本ドキュメンタリー映画の黎明」「ティーチ・イン」「アジアの映画作家は発言する」といった年おきに山形で開催されるイベントも行われた。今後一年おきに山形で開催される。

名作映画の完全復元版公開

イタリアの今は亡き名監督ルキノ・ヴィスコンティの代表作「ルードヴィヒ・神々の黄昏」の、初公開時の三時間版より長尺の、四時間八分の完全版「ルードヴィヒ」が日本公開され、話題を呼んだ。ついでイギリスの名匠デヴィッド・リーン監督の代表作「アラビアのロレンス」の、初公開時の三時間七分版より長尺の「三時間四一分の完全版」が、日本公開を待っている。配給会社の意向で短縮されていたものが、当時の関係者の努力によって完全に近い形に復元

「黒い雨」は井伏鱒二の小説を今村昌平監督が黑白画面で映画化した、広島の原爆投下にまつわる人間ドラマを描いた日本映画。「ブラック・レイン」は「エイリアン」のリドリー・スコット監督が、マイケル・ダグラスのアメリカ人刑事と高倉健の日本人刑事を主人公に、大阪ロケで作った犯罪アクション映画。日本人ヤクザの大ボスを演じる若山富二郎のセリフに「戦争中のアメリカ軍機B-29がもたらした惨禍で黒い雨が降り、日本がまったく変わった」といってた言葉がある。

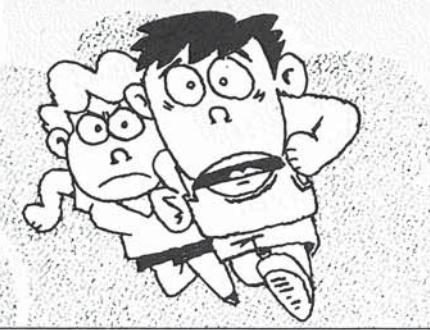


◆「黒い雨」と「ブラック

されたものである。

スポーツ用語の解説

川本信正



さ].....スポーツ評論家

●1988年のソウル・オリンピックは、久しぶりに東西合同のオリンピックとして成功した。しかもこれを契機として、韓国とソ連・東欧諸国との貿易ルートも開かれ、政治の介入に悩まされていた国際スポーツ界が、こんどは逆に政治をリードした。

- 長い間閉鎖的だったソ連のスポーツにも、ペレストロイカ（改革）とグラスノスチ（公開性）の効果が現れ、テニス、アイスホッケー、ボクシングなどで初めてプロ選手が登場した。

●90年秋、北京でアジア競技大会が開かれる予定だが、躍進を続ける中国スポーツ界に、89年の「北京動乱」がどのような影響を及ぼすか注目される。

オリンピック用語

が創立され、九六年四月、ギリシャのアテネで近代オリンピックの第一回大会が開催された。以後、四年ごとに回を重ね（一九一六年、四〇年、四年は戦争で中止）している。

れ、以後四年ごとにオリンピックの年に開かれているが、回数は夏のオリンピックとは別で、九二年はアルベールビル（フランス）で第一六回大会が開催される。その次の第一

とバドミントンが正式競技として加わるほか、柔道の女子、陸上の女子一〇キロ競歩、卓球男子団体などが加わり、二五競技・二五八種目が実施され

史上最大の規模となる。
九六年の第二六回開催都
はアテネ(ギリシャ)、ア
ンタ(アメリカ)、バーミ
ム(イギリス)、メルボ

(オーストラリア)、トロント(カナダ)、ペオグラード(ユーロ)の六都市が立候補しているが、九〇年九月、東京で開催のIOC総会で決定する。

ク、スキーのフリースタイル

しているが、一九九一年バ

は一つの転機を迎えるかも

テニス、野球。

◆冬季オリンピックの

◆ 90年の最新語
◆ アルベルビル冬
◆ オリンピック(Albe

ク、スキーのフリースタイル
男女モードグル、バイアスロン
女子競技などが加わり、六競
技・五五種目が実施され、史

しているが、一九九一年バーミンガム（イギリス）で開催のIOC総会で成否が決まる。

◆オリンピック（Olympic
は一つの転機を迎えるかも
しねど。

テニス、野球。
オリンピック大会では、一
都市の組織委員会がこの
一五競技以上を選べば

◆冬季オリンピックの競技

オリンピック(Albertville Winter Olympics) 第一六回冬季オリンピックは、一九九二年二月八日から三月までの一六日間、フランスのアルペールビルで開催される。この大会では新たにスケートのショートトラック

男女モーティング、バイアスロン、女子競技などが加わり、六競技・五五種目が実施され、史上最大の規模となる。冬と夏の両大会が同じ年に行われるのはこれが最後で、次回から冬夏二年おき開催となり、冬季大会は九四年ノルウェーのリレハメルで開催される。長野県が九八年開催地に立候補

しているが、一九九一年バーミンガム（イギリス）で開催のIOC総会で成否が決まる。◆バルセロナ・オリンピック（Barcelone Olym-pics）

◆オリンピック (Olympic Games)
は一つの転機を迎えるかも
しれない。

テニス、野球。オリンピック大会では、都市の組織委員会がこの一五競技以上を選べばことになっている。

◆冬季オリンピックの競技

冬季オリンピックでは、次六競技が行われる。

スキー、スケート、アイススケート、バイアスロン、ボブスレー、リュージュ。

◆古代オリンピック
(Ancient Olympic Games)

紀元前七七六年から紀元前三年まで、四年ごとに、

園芸用語の解説

江尻光一

〔えじり・こういち〕

園芸研究家



●1990年4月から9月末まで大阪で花の万博が行われる。花をテーマにした万博をアジアで行うのはこれが初めて。3月8日から11日まで、名古屋国際蘭展'90が開かれる。

●バイテク利用の苗の増殖が盛んになり、野菜では植物の生産工場という考え方方が現れ、花では、植物特許への関心が深まり出し、農業や園芸部門での新しい流れが見られるようになった。

●園芸にも流行があり、1955年から始まった花壇園芸は75年を境に鉢植え園芸に、その後は室内園芸へ関心が移ってきてている。また、88年よりハーブ栽培が盛んになったがこれとは別に切花の輸入は増え年間一億本になってきた。

土植えはあまり好まず水苔植えにするが、軽石に穴を開けこれに株をさしこんだり、コルクに接着剤ではりつけても一年間は生活できるくらい丈夫。株に霧をかけ、冬は最低五度以上の所で越冬できる。

◆百合(ゆり)

リリーの名で知られている百合は世界中に約一〇〇の原種があり、そのうち一五種は日本に産し、中には食用になつてあるものもある。古くは室

町時代から切花に用いられた歴史のある百合が最近注目されだしたのは、オランダをはじめとする海外での品種改良で新品種が次々に生まれたり国内での育種も盛んになり新しい花色が生まれてきたためである。現在、人気度の高いのはカサブランカ(白)、スターギヤザ(濃桃)、などだが、日本原産の乙女百合、鉄砲百合、透かし百合、などは栽培

枚出て三年間は枯れない。花は冬の終りから春にかけて、三〇センチくらいの花茎を出し、その先端に橙色の花を一〇二〇輪ほど付け、三週間は観賞できる。冬は室内に置き、最低五度以上を保ち、晩春から中秋までは戸外の薄日のあたる所に置く。施肥は四月、九月。最近はダルマとよぶミニ系が多い。

◆シャコバサボテン

デンマークカクタスの名でも市販されているサボテン科ジゴカタタス属の多肉植物。葉

のように見える茎節の縁の様子が、海にいるシャコに似ているところから名づけられている。ブラジル原産で、同じ仲間には、カニバサボテンがあるが開花期は春で別種。シヤコバは秋から冬にかけて開花。最近デンマークで改良された新品種が導入されて以来、流行した。春から秋にかけ戸外で日光浴させ、水は八月のみ週一回と少なくし、他の時は鉢土が乾いたら与える。肥料は五月から七月までの三ヶ月間のみ。ふやすのはさし木で春。植替えは桜の開花頃。用土は草花用培養土を使用。

◆ベゴニア

シユカイドウ科ベゴニア属の植物のこと。一年草的な四季咲きベゴニア、茎が木のようになる木立ベゴニア、球根のできる球根ベゴニア、葉の美しさを見るレックス・ベゴニアなどの系統があり、育て方も少しずつ異なる。原意は園芸家ミッセル・ベゴンにちなんだもの。ベゴニア類のうち花壇植えできるのは四季咲きベゴニアで、別名はセンパフローレンス、略してセンベコ。いずれのベゴニアも耐寒性はなく冬は五度以上の室内に置く。

人気の園芸植物

◆シクラメン
サイクラメンともよばれるサクソウ科シクラメン属の植物で、原産地は地中海沿岸、

日本へは明治の中頃に渡来した。現在では年間一〇〇〇万鉢あまり生産され、鉢花のナンバーワン。市販は秋の中頃から冬の間だが、これは生産園芸でのあり方。家庭で育てる冬の中頃から春に開花する。冬はガラス越しの日光にて、水は鉢土の表面が乾いたら与え、肥料は秋から五月まで与える。冬は最低五度以

上の所におき、夏は戸外の日陰で水やりだけを行う。

◆ティランドシア
中南米原産のペイナップル科の観葉植物で、チランドシア、あるいは略してチランジアともよばれる。アナナスの一種で樹木に着生して生活しているが根はあまりなく、葉のつけ根に雨水を貯え、これで生きている変りものである。

◆君子蘭
蘭の字はついているが、蘭科植物ではなく、ヒガンバナ科クンシラン属の多年草。生まれば南アフリカで、大樹の根ぎわに自生している。葉は左右に拡がり、一年に三~四

枚出て三年間は枯れない。花は冬の終りから春にかけて、三〇センチくらいの花茎を出し、その先端に橙色の花を一〇二〇輪ほど付け、三週間は観賞できる。冬は室内に置き、最低五度以上を保ち、晩春から中秋までは戸外の薄日のあたる所に置く。施肥は四月、九月。最近はダルマとよぶミニ系が多い。

◆ハイドランジア
ゼラと略称されている鉢植えの多年草で、茎は木質化する。フウロソウ科ペラルゴニウム属のもので、原産地は南アフリカ。日本でも無霜地帯

演藝用語の解説

矢野誠一「やの・せいいち」……演芸評論家



●レトロ・ブームだが、能・狂言・文楽・歌舞伎などの伝統演劇や寄席演藝などの活性化にはつながっていないのが現状である。

●そんな中で文樂の重要無形文化財保持者で藝術院会員の竹本越路大が、1989年5月の東京国立劇場小劇場の文樂公演「菅原伝授手習鑑」を最後に引退した。

●いぜんとして観客動員の大半を団体に依存している商業演劇の、海外戯曲の紹介、新劇への参加といった多様化は、ますますその度を加えているが、ここ数年、大企業・中企業などのスポンサーをつけたいわゆる「冠興行」もふえている。

◆歌舞伎
日本の演劇

とであった。一七世紀初め頃から、歌舞伎踊りが町人層の人気を集めて発達、次第に演劇的な完成度を高めていく。一六二九(寛永6)年、幕府による歌舞伎の禁令が出て以来、女優不在を余儀なくされると、そのことがこの演劇の特殊性を高め、女形による一種の様式美を生みだした。一九世紀末の江戸の頽廃的な氣

分の中から、生世話物が出現し、様式的な面で歌舞伎は、今日のかたちに完成したといつよい。

◆上方歌舞伎
江戸歌舞伎に対する呼称。町人文化の栄えた大坂を中心とした時代に、歌舞伎が、和事の伝統に固執して独自の色彩を發揮したが、戦後はほとんど東京に吸収され、呼称だけが残されている。

世話、世話狂言、二番目狂言、二番目物などともいう。江戸以前の時代に題材をとり、公卿、僧侶、武家社会の描かれた歌舞伎演目。

歌舞伎独特の化粧法。紅・藍の他の顔料で、筋やぼかしをいれることによって役の人のボーグで観客の視線を集め、「見得をきる」という。

◆隈取
歌舞伎獨特の化粧法。紅・藍の他の顔料で、筋やぼかしをいれることによって役の人間の性格を様式化させる。

歌舞伎役者の分業制度が確立していった時代、座組などの関係から立役が女形を演じたり、女形が立役を務めるなどによる。

◆かやく(加役)
歌舞伎役者の分業制度が確立していった時代、座組などの関係から立役が女形を演じたり、女形が立役を務めるなどしたときに、加役と称する特別手当が支払われた。現在でも、専門外の役を演ずるときに、この言葉が使われる。

◆屋号
町人には苗字の許されなかつた時代の名残りで、歌舞伎役者が立つ場面を舞踏化したもの

歌舞伎十八番

七世市川團十郎が、家の芸として設定した十八種の演目。

『不破(ふわ)』『鳴神(なるかみ)』『暫(しばらく)』『不動(ひき)』『勧進帳(ういらううり)』

『轡(うわなり)』『象引(ぞう)

戻(戻)』『外郎壳(ういらううり)』

『矢の根(やのね)』『関羽(かんう)』

『景清(けいせい)』『七つ面(しちつめん)』『毛抜(けぬぬき)』

『解脱(げきだつ)』『蛇柳(じややなぎ)』

『鎌鬚(かまひげ)』で、市川

家代々が売り物とした、荒事

の魅力で見せる。

金比羅歌舞伎

現存する最古の劇場といわれる香川県琴平町の金丸座を使用して、全国から観客を集め歌舞伎興行。一九八五年(昭和六〇)年から、年一回行われ、東京から歌舞伎役者が参加している。

時代狂言

時代狂言、一番目狂言、一番目物などともいう。江戸以前の時代に題材をとり、公卿、僧侶、武家社会の描かれた歌舞伎演目。

世話物

歌舞伎狂言、二番目狂言、二番目物などともいう。江戸時代の町人の暮らしのなかから題材をとっている。なかでも、写実性ある演技が要求されるものを、とくに「生世

話物」とよんでいる。

荒事

荒武者事の略称といわれるよう、怪力無双の武人、超人的な鬼神などが活躍する、歌舞伎の武張った演出、演技、またその演目。

和事

色事、艶事を主にした歌舞伎の役柄、またその演目。元禄期の坂田藤十郎が始祖とされている。

立役(たちやく)

女房に対する男役の総称。今は登場人物の中心となる重要な役どころを使う。

けれど

外連とも書く。本物の水で雨をふらせたり、早替り、宙乗りなど仕掛けを利用した軽業めいた演出で観客の興味をひく方法。昨今では、市川猿之助が売り物にしている。

見得

特徴的な歌舞伎演技。劇的緊張の高まつたところで、一瞬演技中の運動を停止させ、そのボーグで観客の視線を集め、「見得をきる」という。

隈取

歌舞伎独特の化粧法。紅・藍の他の顔料で、筋やぼかしをいれることによって役の人間の性格を様式化させる。

道行

もともとは軍記物などの文芸作品における道中の光景を叙述した部分をいつたが、歌舞伎においては、相愛の男女が連れ立つ場面を舞踏化したもの

道化役

歌舞伎役者の分業制度が確立していった時代、座組などの関係から立役が女形を演じたり、女形が立役を務めるなどしたときに、加役と称する特別手当が支払われた。現在でも、専門外の役を演ずるときに、この言葉が使われる。

屋号

町人には苗字の許されなかつた時代の名残りで、歌舞伎役者が立つ場面を舞踏化したもの